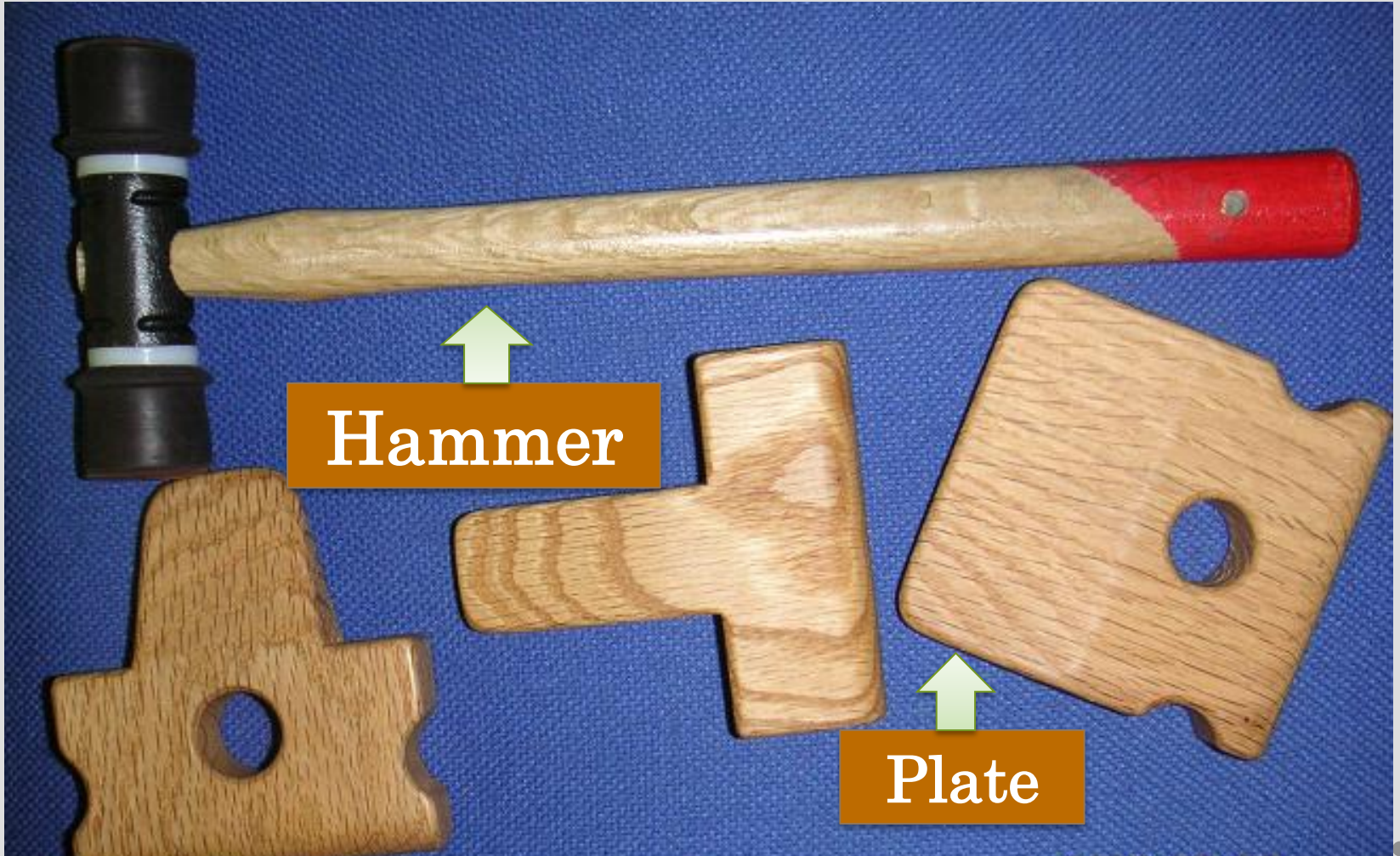


**回復期病棟の腰痛患者に対して
プレーティングを加えた
包括的アプローチが
早期退院に繋がった一症例**

**八潮中央総合病院
新井龍一**

プレーティング



Hammer

Plate

Hammeringの効果

関節包内運動を促す

筋スパズムの軽減

アライメント改善

疼痛の軽減

症例紹介

80代 女性 認知症+

＜疾患名＞ 右恥骨骨折

＜現病歴＞

H25.11.27

家で尻もちをつき転倒

右恥骨骨折と診断され当院へ入院

当院急性期リハを行った後，同年
12.12 回復期病棟へ転棟となった

痛みのためリハ拒否，食事摂取↓

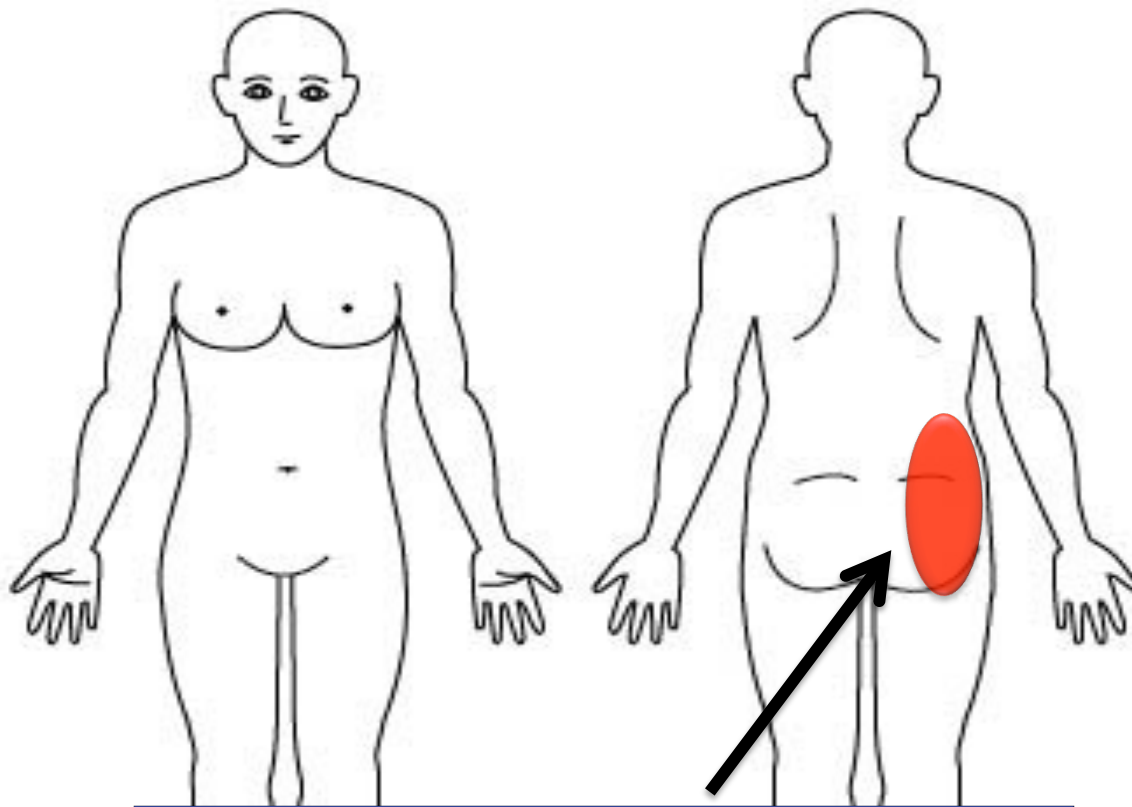


図1：正面X-P

初期評価

1 2.1 2～

- 車椅子介助にてリハ開始
- 見当識, 記憶, 自発性の低下
- 5分以上の座位保持が不可能
- 痛みを我慢すれば歩行器で5m程度可能
- 痛みと疲労感でリハを拒否
- 食事摂取量の低下 → 低栄養
- 不穏



動作時 NRS 10
「ズキン」とする痛み
股関節に防御性収縮+

図2：ボディーチャート

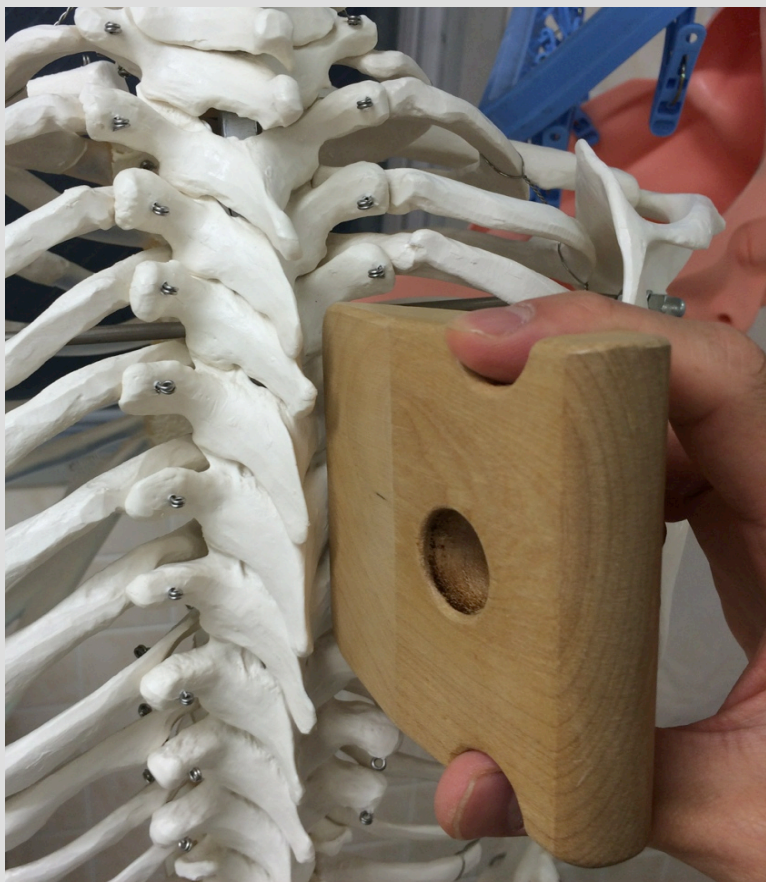
問題点



臨床推論



試験的治療から初期治療



グレード I ~ II, 2 ~ 3 Hz の振動刺激

治療直後 再評価

- NRS 10 → **NRS 3**
- **寝返り時の痛みなし**
- ROM-T (R/L) : - 10 / - 20 P → -5 / **10**
- 10 mMAX (歩行器) : 28 秒 6 → **22 秒 5**
- ※ プレーティングだけでは根治は難しい。
その後、積極的な運動療法を行った。

チームアプローチ

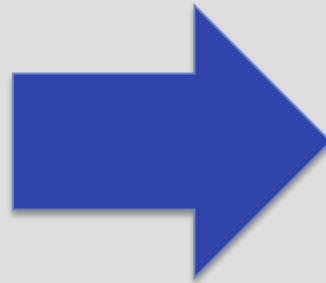
食事形態 変更

- 本人の好み
- 椅子からベッド上へ

介入方法 検討

- 介入時間
- 介入回数

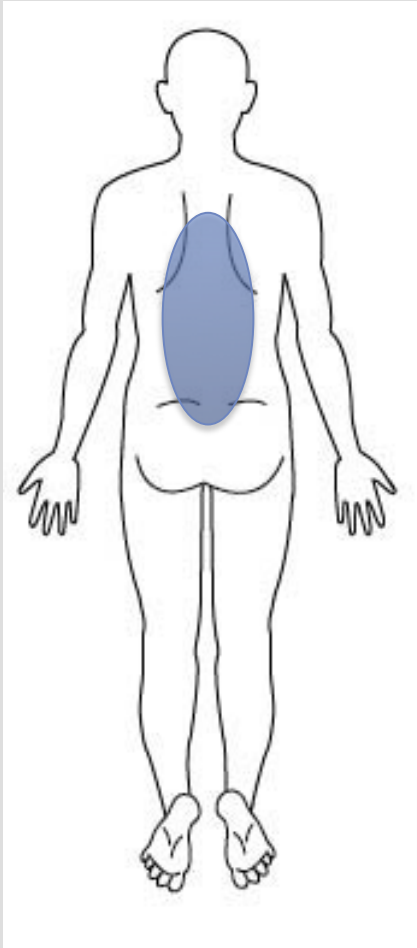
補高



最終評価 介入から約1ヶ月（1/25）

- NRS 10 → 0
- MMSE 12 → 21
- 股関節周囲筋（MMT） 2 → 4
- 起き上がり 全介助 → 自立
- 歩行 歩行器で5m程度介助 → 屋内外監視レベル
- 10mMAX 28"6（歩行器） → 9"46（独歩）

まとめ



早く痛みをとってあげたい！

多くの hypomobility

治療の範囲が広い！



プレーティングを選択！！

包括的アプローチ

